

第4 県債の状況

1 県 債

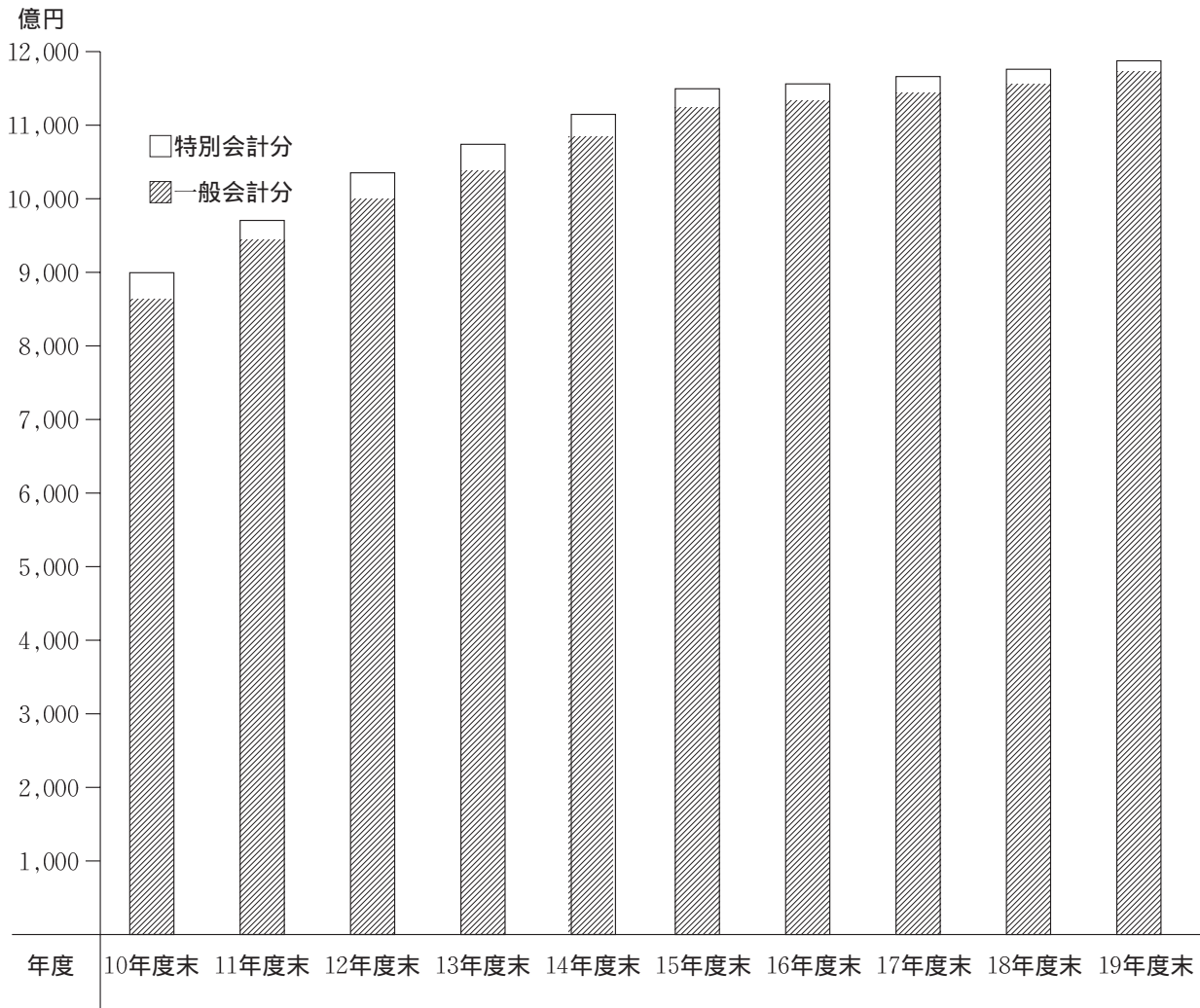
2月定例会において、歳出予算との関連など、確定見込みにより47億4,079万8千円の増額補正を行いました。

また、3月の専決処分において、起債同意等額の最終決定に伴い、所要の整理を行いました。

これらの結果、平成19年度末の県債の現在高は、第31表のとおり、一般会計1兆1,477億4,727万6千円、特別会計398億7,523万円、合計1兆1,876億2,450万6千円であり、前年度末残高1兆1,593億4,992万7千円に比較して、282億7,457万9千円（2.4%）の増となっています。

また、参考までに県債現在高の推移は第11図のとおりです。

第11図 県債現在高の推移



第31表

県債現在高の状況

(単位 千円)

区 分	17年度末 現在高	18年度末 現在高見込額	19年度中増減見込額		19年度末現在高 見込額	
			19年度中起債 見込額	19年度中元金 償還見込額		
一 般 会 計 分	1 普通債	946,616,676	937,085,998	78,307,000	70,753,042	944,639,956
	(1) 総務債	49,327,133	47,780,754	1,648,900	3,275,406	46,154,248
	(2) 民生債	2,547,747	2,922,253	410,300	241,469	3,091,084
	(3) 衛生債	5,788,794	5,152,759	20,800	530,897	4,642,662
	(4) 労働債	24,127	25,963	45,000	1,209	69,754
	(5) 農林水産業債	86,486,316	86,448,676	8,474,600	7,418,217	87,505,059
	(6) 商工債	21,307,407	19,925,204		1,305,071	18,620,133
	(7) 土木債	753,757,038	747,041,190	62,948,100	55,773,311	754,215,979
	(8) 警察債	4,020,242	3,738,753	1,517,100	594,806	4,661,047
	(9) 教育債	23,357,872	24,050,446	3,242,200	1,612,656	25,679,990
	2 災害復旧債	10,398,850	11,001,064	813,100	1,315,619	10,498,545
	(1) 単独災害復旧事業債	1,965,859	1,929,325	101,200	203,317	1,827,208
	(2) 補助災害復旧事業債	8,432,991	9,071,739	711,900	1,112,302	8,671,337
	3 港湾整備事業債	19,210,756	18,962,671	港湾整備事業特別会計に移行		—
	4 過疎地域下水道代行事業債	1,105,318	1,057,325		55,178	1,002,147
5 減税補てん債	18,690,735	19,323,341		953,809	18,369,532	
6 臨時減収補てん債	4,243,102	3,926,916		322,541	3,604,375	
7 臨時財政対策債	126,477,114	145,413,754	18,744,998	3,983,331	160,175,421	
8 退職手当債		3,531,500	5,927,800		9,459,300	
計	1,126,742,551	1,140,302,569	103,792,898	77,383,520	1,147,749,276	
特 別 会 計 分	1 母子寡婦福祉資金	1,749,276	1,829,276	120,000		1,949,276
	2 農業改良資金	244,406	210,698		33,708	176,990
	3 中小企業近代化資金	10,579,314	9,075,944	3,400,000	1,930,899	10,545,045
	4 下関漁港地方卸売市場	3,132,423	3,055,583		121,771	2,933,812
	5 流域下水道事業	5,068,022	4,875,857	454,300	642,252	4,687,905
	6 港湾整備事業	—	—	2,116,900	1,497,369	19,582,202
	計	20,773,441	19,047,358	6,091,200	4,225,999	39,875,230
合 計	1,147,515,992	1,159,349,927	109,884,098	81,609,519	1,187,624,506	

平成19年度に港湾整備事業特別会計を設置したため、一般会計中の平成18年度末における港湾整備事業債の現在高は、特別会計に引き継いでいる。